

耐震診断費・耐震改修費・ブロック塀等撤去費の補助

■住宅の耐震診断（法人可。空き家は除く）

●木造住宅の無料耐震診断 ID242

対 次の全てを満たす住宅の所有者

- ①木造2階建て以下の在来軸組構法および伝統構法による一戸建て住宅、長屋、併用住宅、共同住宅
- ②昭和56年5月31日以前に着工
- ③自己居住または貸家（居住者の同意が必要）

●非木造住宅耐震診断費の補助 ID240

対 次の全てを満たす住宅の所有者

- ①木造以外の一戸建て住宅、併用住宅
- ②昭和56年5月31日以前に着工
- ③自己居住または貸家（居住者の同意が必要）

限度額 9万円

■住宅の耐震改修費などの補助 ID234

耐震診断の結果、「一定の基準を満たさない」と診断された木造住宅、「安全でない」と診断された非木造住宅の耐震改修費などを補助します。

- 申 5月7日(水)～11月28日(金)に、建築課（☎32-1418）へ
- 他 予算がなくなり次第受付を終了します。詳しくは市ホームページで確認してください

■ブロック塀等撤去費の補助 ID210

対 次の全てを満たすブロック塀などの所有者または管理者（法人も可）

- ①コンクリートブロック、コンクリートパネル、レンガ、石材、その他これらに類する材料を用いたもの
- ②高さが1m以上で道路などに倒壊する恐れのあるもの（全撤去）

限度額 20万円

■住宅瓦屋根の耐風診断、耐風改修費の補助 ID3851

●住宅瓦屋根の耐風診断

限度額 2万1,000円

●住宅瓦屋根の耐風改修

耐震性を有することが確認された既存住宅で耐風診断の結果、告示基準に適合しない住宅の瓦屋根について耐風性能を有する屋根に葺き替える工事費を補助します。

限度額 55万2,000円

対 令和3年12月31日までに葺いた瓦屋根の住宅の所有者（法人も可。空き家は除く） ※スレート屋根、金属屋根除く

遊休農地流動化促進事業補助金

ID431 申請書ダウンロード可

市農地の荒廃の防止および流動化を促進するため、遊休農地となっている畑地の解消・対策について補助金を交付しています。

①遊休農地流動化事業の補助

対 認定農業者など

補助限度額 10万円/10アール

申 令和8年2月上旬まで

他 利用権設定などがされた場合、市から補助金の案内をします

②遊休農地荒廃防止事業の補助

対 防草シートの購入・敷設委託をした遊休農地の所有者または管理者

補助限度額 1万円/10アールまたは防草シートの購入費・敷設委託費に相当する額のいずれか低い額

申 防草シートの購入…令和8年3月10日(火)まで
防草シートの敷設委託…令和8年1月30日(金)まで

他 敷設委託の場合、申請時に見積書の提出が必要

問 農務課 ☎32-1352

事業所の増改築、テナント入居などは消防署に相談を

ID4716

消防法令違反の是正を推進しています。違反となっている原因の多くが、建物の増改築、用途・間仕切りの変更を行った際に発生しています。

建物の改修・変更を行う際は、消防署へ事前相談をし、建物が消防法令違反とならないようにしてください。建物の防火安全向上や改修後の思わぬ出費・トラブルの防止につながります。

問 消防本部予防課
☎22-2114

大雨・河川の氾濫による浸水対策など

雨水流出抑制施設設置費用の補助制度

ID18 申請書ダウンロード可

- 対 ①雨水タンク（雨水貯留槽）…市内の宅地などに貯留量が100ℓ以上のものを設置する方
- ②浸透枳…市内の宅地などに内径が150mm以上のものを設置する方



▲雨水タンク

補助金額

購入・設置費の3分の2（補助限度額10万円）

申 申請書に記入の上、治水課へ

他 設置前に申請が必要です

防水板設置費用の補助制度

ID23 申請書ダウンロード可

対 市内の建物や敷地の出入り口に、防水板を設置する方

補助金額

購入・設置費の2分の1（補助限度額20万円）

申 申請書に記入の上、治水課へ

他 設置前に申請が必要です



▲防水板

問 治水課 ☎32-1389

5月15日～21日
流域治水推進週間

雨水を一時的に貯め、地下に浸透させる機能を持つ田畑が減少したことで、雨水が短時間で大量に河川や水路へ流れ込むようになり、洪水が起こる危険が高まっています。

河川の改修だけでなく、雨水を貯める施設を増やすなど、流域全体で取り組む必要があります。これを流域治水といいます。流域治水を進めるため、雨水を貯める雨水タンク（雨水貯留槽）や雨水を浸透させる浸透枳をご自宅に設置するようご協力をお願いします。

暮らしの安全安心を守る施設
～排水機場のはなし～

問 農務課 ☎32-1360 ID428

排水機場は、台風や豪雨などによる水害から、地盤の低い地域の生命や財産を守るための重要な施設です。

●排水機場の役割

日頃、農地や住宅地に降った雨水は、排水路を通して河川へと流れ出ています。しかし、大雨が降った時には、河川の水位が高くなることで、雨水が自然に河川へ流れなくなってしまいます。そのため、排水機場のポンプを運転して、河川へ強制的に排水させることで浸水被害を防ぐ役割を担っています。

排水機の故障の原因となるため、水路や河川にゴミを捨てないようお願いします。

また、雨天のときは危険なため、排水機場や河川、水路には近づかないようにしてください。